

進めています 行政改革

財政課総務係 ☎(63)2399



▲行政改革によって生み出された財源は、第3子対策事業など市が進める施策の財源として活用されています。

事務量効果※

8,187時間の増

※事務量効果…事務の効率化等によって生み出された業務時間の短縮効果

目標は、時間外勤務の短縮を中心に13,434時間の削減を掲げましたが、結果として8,187時間増加してしまいました。その要因は、昨年8～9月の集中豪雨に対応するため、職員の時間外勤務が増加したことなどがあげられます。



▲災害を未然に防ぐため、速やかに出動しています。

市では、平成18年度に策定した「第4期行政改革大綱」に基づき、平成19年度から23年度までの計画期間において行政改革に取り組んでいます。

平成20年度は、事務量効果が増加してしまいましたが、経費効果は目標以上の削減をすることができました。

市では引き続き、健全な財政運営に努めていきます。

経費効果※

6億1,671万円の削減

※経費効果…コスト縮減などによる金銭面に換算した効果
目標は、2億3,459万円の削減を掲げましたが、公共工事のコスト縮減を中心に目標を大きく上回る6億1,671万円を削減しました。

主な経費効果の内容

人件費の削減 8,496万円

- ・職員数の減（1億639万円）
職員数を996人（平成20年4月1日現在）から975人（平成21年4月1日現在）に21人削減しました。
- ・時間外手当の削減（△2,143万円）
8～9月の豪雨対応により増加しました。

公共工事コスト縮減 3億8,071万円

対象工事110件、工事実施時期の調整・工事残土の活用などを実施しました。

開発行為における下水道施設の設置 2,800万円

開発行為地での公共下水道污水管布設工事の施工者を、市の施工から開発行為者の施工にしました。

民間委託の実施 2,333万円

し尿・ごみ収集などの業務を一部民間に委託しました。

未利用市有地の売却 4,485万円

法定外公共物など市有地の売却を行いました。

滞納整理の推進 2,369万円

滞納整理未済案件について、差し押さえや執行停止処分を積極的に活用し、整理未済案件の解消と徴収率の向上を図りました。